



新編海派伝奇京劇 水滸伝 扈三娘與王英



あらすじ

◎宋代の末。官に背いた英雄豪傑が立て籠もる梁山泊から狙われた祝家は、戦いの折には、隣村の扈家の応援を頼んでいます。扈家の娘「三娘」は、その美貌を謳われているばかりでなく、男勝りの武芸自慢。「一丈青・扈三娘」と人に噂され、武芸の試合で婿を決めるという徹底ぶり。祝家の三男「祝彪」が婿に選ばれますが、祝彪は折からの梁山泊との戦いで生捕りにされてしまいました。

◎三娘は梁山泊軍に戦いを挑み、獅子奮迅の活躍で祝彪を救い出しますが、白らが捕えられてしまいます。

◎宋江など梁山泊の首領たちは、三娘の美貌と武勇を惜しみ何とか仲間にしようと盛大な宴をはりました。音に聞こえた英雄好汉たちの歓待に三娘も思わず酒を過ぎてしまい、夢うつつの中で「矮脚虎・王英」と婚礼の儀を挙げさせられてしまいます。

◎新婚の部屋で我に返った三娘は、すでに自分には夫と決めた人がいることを王英に告げ、どうか山から逃してくるように頼み込みます。王英は、三娘の願いを聞き入れてやりました。

◎しかし、山を下りた扈三娘を待っていたのは……扈家の家屋敷は焼き払われ最愛の父は殺されていたのです。一体何者が？扈三娘はこの謎に挑み、仇を討つことを誓います。

海派京劇の総本山〈上海京劇院〉

昨年末から新年にかけて北京上海の各劇場で、梅蘭芳と周信芳の生誕百年を記念する公演がおこなわれました。

梅蘭芳の至芸の数々は現代でも伝説的に語りつがれておりますが、梅蘭芳と並び称される周信芳こそが上海京劇院の創始者であり、初代院長です。

北京を中心とする京派に対して海派京劇と呼ばれ、進取の気性に富み、写実的できめ細やかな演技技術は周信芳が創り上げたものであり、彼が育て上げた沢山の名優たちによって伝承されてきました。

そして今、若々しい才能を得て上海京劇院は古典劇に斬新な息吹を加え数々の傑作を創りあげています。海派京劇の真骨頂にふれる絶好の機会といえましよう。

総勢60人のかつてないスケールと興奮。 海派京劇の若き旗手、「史敏」「嚴慶谷」が、繰り広げる大スペクタクル。



色彩の施風 **史敏**

今中国京劇界きっての花形武旦(立回りを主にする女優)。いでたちが美しく爽やかで、立回りは抜群の安定感がある。観客を魅了する声はよく通り、しぐさは細かく文武に優れる。

「火鳳凰」などを始め多くの得意演目を持っているが、どれも非凡な才能と高いレベルの技術を見ることができる。

'94年初頭に全国から選ばれた京劇スター6名の中に名を連ねた。同年第11回演劇「梅花賞」と第5回上海演劇芸術「白玉蘭賞」を受賞。海外公演でも常に絶大な人気を博す。



海派の麒麟児 **嚴慶谷**

上海京劇院を代表する青年武丑(立回りの演目に登場する道化役)俳優。演技の基本は着実で「高く、難しく、軽く、粹な」あらゆる種類のトンボを切ることが出来る。しかも優れた演技力を体得しており舞台での描写力には定評がある。

'93年には「第1回宝鋼杯」で優秀演技賞。同年「第1回十佳賞」優秀青年俳優選抜指名賞。日本公演は5回目。ウーロン茶のテレビCMにも出演している。